

兵庫県但東町

日本・モンゴル民族博物館年報

第4号（平成12年度）

Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum
No.4 (for the fiscal years of 2000)

年報 第4号 (平成12年度)

正誤表 (訂正対象のページ、行数、訂正部分→訂正後の順に記載)

10 ページ 17 行目 大河内庚申塔→佐々木庚申塔

10 ページ 17 行目 佐々木庚申塔→大河内庚申塔

あ い さ つ

平成12年度の博物館活動を綴った「博物館年報4」をお届けします。ささやかな報告ではありますが、ご高覧をいただきご批判・ご叱責を賜れば幸いです。当館はモンゴルや郷土の歴史・民俗等に関する資料を保存・展示、または普及教育や国際理解学習の地域拠点としての博物館運営に努めてまいりました。平成8年11月3日に開館し、これまでの4年5ヶ月間で14万2千人の入館者を迎えることができました。

平成13年度は新しい21世紀の幕開けとなりましたが、町教育委員会も機構改革に伴い、学校教育課と生涯学習課が統合されて教育課となり、博物館は生涯学習課から独立してスタートしました。思い返せば、当館が平成8年に設立の運びとなり、新博物館の舵取り役を誰にお願いしたらよいか問題になり、協議会で前町長の福田芳郎氏にという案が衆議一決を見ました。広い視野から町政を見てきただけに、適切な人を他に知りません。館長就任期間中は公私に渡ってご指導いただき、今後私たち職員の責務としてこれまで蓄積された仕事をさらに前進しなければならないと、思いを強くしているところです。また、福田芳郎氏には博物館顧問に就任いただき、今後も博物館運営に携わっていただくことになっています。

次に、平成12年度の主な成果を取り上げてみますと、平成11年度末に竣工した伝承文化体験交流館では、具体的な展示活動と数多くの体験教室を開催することができ、地域住民の施設利用率が向上しました。夏には著名なモンゴル人画家D. ウルタナサン氏と助手のG. バルスボルド氏の2名が3ヶ月間滞在し、モンゴル伝統絵画のワークショップを実施しました。滞在中に制作した大作「モンゴルの四季遊牧」他多数の絵画を寄贈していただきました。

また、文化財については、町史跡「亀ヶ城」の全面測量を実施し、これまで具体的資料に乏しかった当地の中世城郭を知る上で貴重な資料を提供できたと考えています。普及教育事業では出前授業を11校の小学校で実施、初めての博物館学芸員実習生受け入れ、中学2年生を対象にした「トライやるウィーク」の受け入れを実施しました。

今後も、常設・企画における展示内容の充実と、数多くの体験教室等を開催し、より親しまれる博物館になれるよう職員一同、努力していきたいと考えています。今後とも当館の事業にご理解いただき、ご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年5月

日本・モンゴル民族博物館

館長 金津 匡伸

目 次

I. 平成12年度概要	4
II. 展覧事業	5
1. 常設展	
2. 企画展	
III. 調査研究事業	6
1. 町史跡「亀ヶ城」の測量調査	
2. 文化財調査委員会の開催	
IV. 資料収集保存事業	8
1. 寄 贈	
2. 購 入	
3. 資料の貸出	
4. 資料の燻蒸	
5. 文化財標柱設置	
V. 普及教育事業	10
1. 出前授業	
2. 普及事業	
3. 博物館学芸員実習生の受入	
4. 「トライやるウィーク」の受入	
5. 講師派遣	
6. 出版活動	
7. ホームページの開設	
8. 子ども放送局	
VI. 国際交流事業	13
1. モンゴル国若手芸術家支援活動	
2. モンゴル芸術家連盟副会長の来館	
3. モンゴル国バヤンホンゴル県元副知事の来町	

VII. 管理運営.....15

1. 組織・職員
2. 予算の概要
3. 入館者利用状況
4. 施設管理
5. 博物館協力会
6. 博物館日誌抄
7. 来館者の声
8. 施設概要
9. 利用案内
10. 交通案内

あとがき.....31



I. 平成12年度概要

当館の事業を大きく分けると、博物館運営・文化財保護・国際交流の三つに大別される。

博物館運営として、常設展や企画展などの展示活動、調査研究活動、資料収集保存活動、普及教育活動がある。常設展はこれまでも部分的に変更しており、開館時と比較すると大きく変化している。

平成12年度には伝承文化体験交流館が竣工し、地域文化について考古・歴史・民俗資料の展示と、博物館教室など各種体験学習に対応できる条件が整った。

平成12年度の展示活動として、企画展を3回実施した。第11回企画展「現代に生きるモンゴルの伝統工芸」は、館蔵資料を中心に伝統工芸品であるフェルト製の敷物、刺繍が施された壁掛け、パッチワークなどの工芸に使用する道具などを展示し、女性の視点で見た遊牧文化の理解に努めた。第12回企画展では「但馬に生きる虫」を取り上げ、里山の虫・田んぼや畑の虫・水辺の虫・虫を捕る道具などを集め、初めて生き物をテーマにした展示を開催した。また、小・中学生を対象にした「虫の観察キャンプ」を開催し、捕獲などの体験学習をした。第13回企画展として「おみやげの民俗学」を開催し、明治時代から昭和時代初期にかけて収集された国内の伝統的な郷土

玩具をはじめ、海外旅行での土産、外国の人からホームステイの土産としていただいたものを展示し、土産の文化を探る企画展を実施した。

文化財保護では、町史跡「亀ヶ城」の測量調査を実施した。鎌倉時代、但馬守護職太田昌明の居館跡と伝えられてきたが、確証もなく今日に至っている。町史跡ということもあり、将来の史跡保存や文化財活用の基礎資料を得るため実施した。また平成10年度に実施した農村歌舞伎舞台調査報告書を八戸工業大学建築学科高島成侑教授に依頼し、平成12年度中に編集、13年度に発刊を予定している。

国際交流では、昨年度に引き続きモンゴルの著名な画家D. ウルタナサン氏と彼の助手G. パルスボルド氏を3カ月間招聘しての創作活動を支援した。平成11年度から制作を始めた「モンゴルの四季遊牧」も完成し、博物館に寄贈を受けた。額装ができ次第、展示公開する予定である。

普及教育事業では、平成11年度から始めている出前授業も好評を得ており、国際理解学習に対する支援活動ができたと考えている。



(伝承文化体験交流館での博物館教室)

Ⅱ. 展覧事業

1. 常設展

(1) 常設展の構成

博物館の常設展示は、A棟のたんとうの森、B棟の東アジアの歴史・チベット仏教、C棟のモンゴル草原の暮らしと文化、加えて但東町に古くから伝わる民俗資料により構成されている。

- ◎ たんとうの森……人口樹木を配し、平安時代の朽ち木仏像5体を展示。
- ◎ 東アジアの歴史……恐竜の卵化石から中国元代までの歴史資料を展示。
- ◎ モンゴル草原の暮らしと文化……ゲルと呼ばれる移動式住居を中心に衣食住をテーマ別に展示。
- ◎ モンゴル草原のいのり……チベット仏教の寺院を再現している。
- ◎ 伝承文化体験交流館……昭和30年代の民家を再現、暮らしや生産の道具を展示。

(2) 職員による解説

当館の職員は現在5名(1月末6名)で来館者の要望に応じて随時解説補助をしている。解説は、数名から10数名程度の団体については各展示室を通して行っているが、20数名以上の団体では通路が狭いこともあり一般的なガイドンスや、各コーナーでの個別的な質問への対応が主体となっている。

2. 企画展

平成12年度は次の3回(第11回～13回)の企画展を行った。

(1) 第11回企画展『現代に生きるモンゴルの伝統工芸』

平成12年4月2日～7月11日

100日間(見学者数:5,596人)

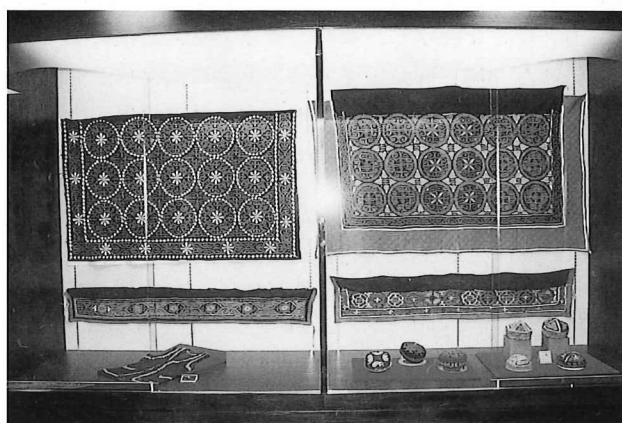
現代に生きるモンゴルの伝統工芸は、館蔵資料を中心に伝統工芸であるフェルト製の敷物や刺繍製品など、女性の視点で見た遊牧文化の理解に努めた。

【展示構成】

- ① フェルト製品
- ② パッチワーク
- ③ 工芸に使用する道具



(展示風景 1)



(展示風景 2)

(2) 第12回企画展『但馬に生きる虫』

平成12年7月6日～11月28日

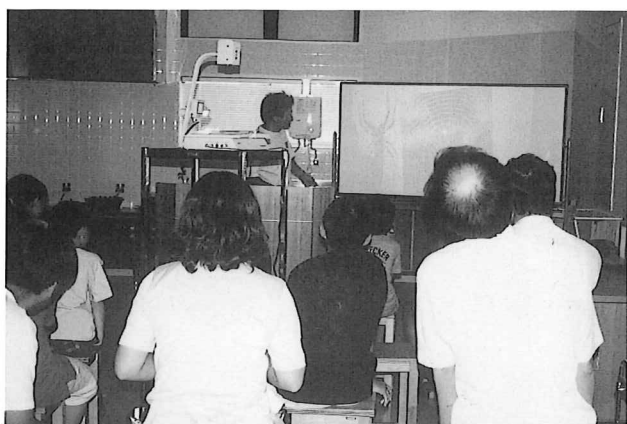
144日間(見学者数:11,138人)

身近にいながら、以外と知られていない虫。展示には、豊岡市にある但馬虫の会木下賢司氏、竹野町自然インストラクター本庄四郎氏、出石中学校山崎善彦教諭の貴重なコレクションを借用し、生態標本や模型なども含めて展示した。

また期間中小中学生を対象に、虫キャンプ・川の学校などを開き夜行性の虫捕獲、水辺の生き物の観察など体験学習を実施した。

【展示構成】

- ① 里山の虫
- ② 田んぼ・畑の虫
- ③ 水辺の虫
- ④ 虫を採る道具



(解説風景)



(展示風景)

(3)第13回企画展『おみやげの民俗学』

平成12年11月30日～平成13年4月17日

131日間(見学者数:6,929人)

昔は、旅をするということは大変なことであり、今のように誰でも行けるものではなく、伊勢参りなど代参が今も残っており、代参の証しとして持ち帰ったのがおみやげの始まりと言われている。

本企画展は、青森県八戸市在住の杉本旭氏から寄贈を受けた明治から昭和までの全国の郷土玩具で構成された杉本コレクションを今回初めて全点数を公開する

ことができた。また、現在の代表的なおみやげ、海外18カ国の民芸品を中心としたもの、但東町とモンゴルとの交流の中でいただいたものなど、一同に集め地域の風土や人々暮らしを考へてみることもできた。

【展示構成】

- ① 伝統のおみやげ(杉本コレクション)
- ② 現代のおみやげ
- ③ 世界のおみやげ
- ④ モンゴルのおみやげ



(展示風景 1)



(展示風景 2)

Ⅲ. 調査研究事業

調査研究は、博物館における諸活動の根底をなすものである。それは、質の高い調査研究に裏付けられて、最新の情報を盛り込んだ展示、質の高いコレクション、内容豊かな普及行事が可能となるからである。今回は調査研究を主目的としたものではなく、緊急調査の範疇に含

まれるものではあるが、博物館事業の一環として紹介する。

1. 町史跡「亀ヶ城」の測量調査

(1) 調査に至る経過

本町には28カ所の中世城郭が確認されており、但馬管内でも比較的多い地域として知られている。その中でも亀ヶ城は規模も大きく、中世の特徴をよく残している山城である。町教育委員会では昭和48年12月に「但馬守護職太田昌明居城亀ヶ城」を発刊しているが、文献からのアプローチであり、城の詳細な構造を知り得ることはできなかった。

亀ヶ城の南側には小字名として、門口・町・町下・構口・隠元谷という地名が残されている。周辺には姫ノ段館、大將軍館、堀ノ内館、岩吹城なども隣接しており、亀ヶ城との関係が気になる場所である。今回の調査は国の雇用促進事業の一環であり、町シルバー人材センターに委託して実施した。

(2) 調査要項

① 調査目的 「亀ヶ城」の縄張り確認

亀ヶ城全域には杉が植林されており、測量に支障のある若木や倒木は撤去しながら平板測量を実施した。測量班は3名一組となって実施し、8月から11月までの約3カ月間に渡っての作業となった。

② 調査期間 平成12年8月～11月

③ 調査地 但東町木村・西野々

④ 調査指導 西尾孝昌（八鹿高等学校教諭・兵庫県文化財指導員）

⑤ 調査担当 (正)金津匡伸 (副)大岸勝也 但東町シルバー人材センター (大石清喜所長)

(3) 調査の概要

典型的な山城である亀ヶ城の縄張りを確定するために、県立八鹿高校の西尾孝昌氏（但馬考古学会会長）

に指導をお願いし、現地踏査の結果、縄張りを確定することができた。この縄張りの確定を受けて、各曲輪ごとに平板測量を実施し、全体図の中で修正しながら1:10,000の地図中におととしていく作業を進めた。

また、調査地全体を表面採集調査した結果、輸入陶器として青磁片や染付片が見られ、国産陶器として播り鉢片が最も多く採集することができた。これらの資料は16世紀前後と推定されるものが多かった。

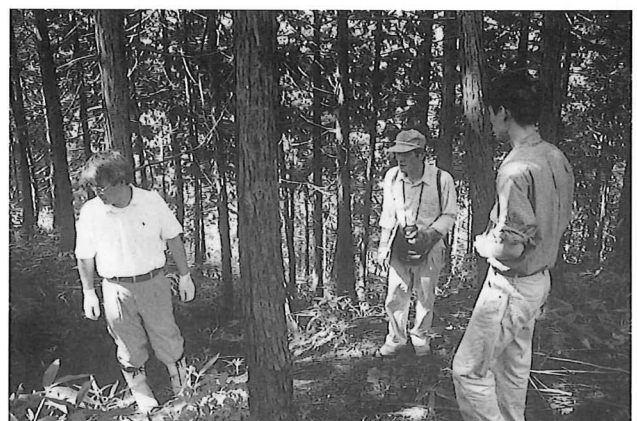
(4) まとめ

主郭は「本丸」と呼ばれている地区で、広い平場に土塁と虎口と考えられる場所を確認できた。この「本丸」の西側に大きな堀切がみられ、さらに西側には一番高い場所としての副郭がある。「本丸」の南側は小さな曲輪が梯子状に連結しており、古い時期の様相を呈している。北側には「馬駈場」と呼ばれている腰曲輪が100 m以上に渡って見られる。西側には畝状堅堀が12本集中しており、地形的に弱い西側に対する防御施設と考えられる。また、今回の測量範囲外であった姫ノ段館は、亀ヶ城と小さな谷ひとつ隔てた場所に位置しており、平場が二段に渡って確認でき、もともと亀ヶ城に伴う曲輪と考えられる。

現在、確認できる姿は廃城となった時期であり、それ以前の姿ではない。但馬地方において畝状堅堀が顕著に見られる時期は織豊期に限られることから、天正8年(1580)の豊臣秀吉による但馬攻め後に山名四天王の一人である有力国人の垣屋氏との関係が考えられる。山城を構成するものとして曲輪・堀・土塁・虎口等であるが、亀ヶ城においてこれらがどのように組み合わさっているか、今後の課題を残している。今回はこれまではっきりしていなかった縄張りの確定を目的としており、細部にわたる構造に関しては今後の調査に待つ部分が多い。



(測量杭の打たれた亀ヶ城跡)



(調査風景)

2. 文化財調査委員会の開催

本年度は文化財調査委員の任期満了により、次の5名が再任された。

第1回文化財調査委員会では、役員の選任・町指定文化財「亀ヶ城跡」の測量調査進捗状況を事務局より報告し、事業計画等の協議がされた。

また、庚申塔・太田家文書・農村歌舞伎舞台の報告書年度内発行並びに、登録文化財の情報収集について協議された。

研修については、淡路地区の北淡町震災記念公園(野島断層保存館)・五色町高田屋顕彰館・西淡町滝川記念美術館「玉青館」において、文化財の保護と活用について視察研修をした。

[文化財調査委員会 (5名)]

会 長：宇治田透玄 会長代理：武知憲男
 委 員：森脇博亮 兼井通夫 小田博一



(文化財調査委員会)



(文化財パトロール)

IV. 資料収集保存事業

資料の収集と保存は、博物館の最も基本的な機能である。当館は郷土やモンゴルの自然や歴史・文化に関する資料を収集するとともに、それぞれの分野でのテーマに

応じ、比較資料として郷土やモンゴルに関する資料をも収集対象としている。資料の収集は、寄贈・寄託・購入・採集・交換など、さまざまな方法で行っている。

1. 寄 贈

(1) 寄贈資料 (敬称省略)

受 入 日	氏 名	住 所	資 料 名	点数
平成12年4月2日	田 村 八千代	兵庫県柏原町	プレーリドッグ	1
4月12日	今 田 幸 雄	但東町	民 具	3
4月10日	羽 尻 義 一	但東町	子牛を引く綱	1
5月16日	藤 野 香 子	兵庫県豊岡市	ビデオテープ (『四季・遊牧』I~III)	6
6月11日	碓 井 美智子	兵庫県西宮市	女性用デール (モンゴルの民族衣装)	1
6月18日	今 田 幸 雄	但東町	五勺升	1

受入日	氏名	住所	資料名	点数
平成12年6月28日	今田光明	但東町	農具	15
7月14日	太田和子	但東町	掛け軸 百人一首	2 1
8月22日	松岡久代	但東町	民具	56
10月13日	古川義明	但東町	書棚(蔵書ともに)	1
11月9日	中嶋善輝	愛知県吉良町	フェルトマット(カザフ族) フェルトマット(トルゴート族)	1 1
11月28日	大沢静山	大阪市 大阪市民大学センター	ナマズの干物(モンゴル国採集)	1
平成13年1月25日	戸垣義一	但東町	米俵	3
2月13日	戸垣義一	但東町	ふご 手ふご 草履(上履き) 草履(下履き) 鍋つかみ 千歯扱きの綱	2 2 3 2 1 1

(2) 図書寄贈者一覧(順不同・敬称省略)

【個人】

受入日	氏名	住所	資料名	点数
平成12年6月11日	碓井美智子	兵庫県西宮市	「モンゴルの建築学」	1
10月13日	古川義明	但東町	「浮世絵聚花」(全巻) 「原色日本の美術」(全巻) 「ビクトリア現代新百科」(全巻) 「原色現代新百科事典」	18 30 13 1
12月28日	田中克彦	一橋大学名誉教授	「モンゴルの歴史と文化」	1
12月2日	楊海英	静岡大学文化人類学助教授	Mongolian Culture Study	1
12月28日	T.ナムジム	滋賀県立大学教授	МОНГОЛЫН АЖАХУИИ ЭДИИНЗАСАГ I・II	2

【兵庫県】

兵庫県(神戸市)、兵庫県県政資料館、兵庫県教育委員会、兵庫県人と自然の博物館、兵庫県立近代美術館、兵庫県立歴史博物館、阪神間ミュージアムネットワーク推進実行委員会、神戸大学建築史研究室、神戸商船大学海事資料館、姫路市教育委員会、姫路市書写の里美術工芸館、姫路市立城郭研究室、姫路科学館、加古川総合文化センター、明石市教育委員会、明石市立文化博物館、明石市立天文科学館、三田市教育委員会、三木市教育委員会、西脇市教育委員会、赤穂市教育委員会、赤穂市立歴史博物館、龍野市立歴史文化資料館、氷上郡教育委員会、新宮町教育委員会、揖保川町教育委員会、加東郡教育委員会、加美町教育委員会、稲美町教育委員会、福崎町立神崎郡歴史民俗資料館、篠山市、春日町歴史民俗資料館、中町教育委員会、播磨町教育委員会、播磨町郷土資料館、朝来町教育委員会、

あさご芸術の森美術館、関宮町教育委員会、八鹿町教育委員会、コウノトリ市民研究所、玄武洞ミュージアム、植村直己冒険館、伊藤美術館、美方町文化財審議委員会、辰馬考古資料館

【京都府】

綾部市資料館、大山崎町歴史資料館、城陽市歴史民俗資料館、大江町教育委員会、日本の鬼の交流博物館、大宮町教育委員会、三和町

【大阪府】

大阪府立弥生文化博物館、大阪市立自然史博物館、大阪青山歴史文学博物館、朝日新聞社

【その他】

文化庁、国立教育会館社会教育研修所、日本・モンゴル歴史文化研究会、アイヌ文化振興研究推進機構、北海道立北方民族博物館、青森県黒石市教育委員会、八戸市博物館、静岡大学人文学部、国立奈良文化財研

究所、天理大学附属天理参考館、楽波文化財修理所、徳島県立博物館、山武考古学研究所、(株)三菱総合研究所

(3) NHK大阪放送局

民族衣装 1着・帯 1点・帽子 1点

平成12年12月1日～12月11日

2. 購入資料

- (1) 展示用マネキン 1体
- (2) タルバガン剥製 (2体) 1セット
- (3) オオカミ剥製 1体

3. 資料の貸出

- (1) 大阪市民大学センター
民族衣装 7着・帯 6点・帽子 5点
曼陀羅写真パネル 1枚・机 1点・椅子 2脚
他 2点
平成12年9月23日～10月15日
- (2) 猪名川町立白金小学校
民族衣装 3着・帯 2点・帽子 2点・馬頭琴 1点
平成12年11月13日～11月24日

4. 資料の燻蒸

平成12年5月30日より2回に分けて、害虫駆除センター・クリーン有限会社にて、全館を対象にピレスロイド系殺虫剤、有機リン系の薬剤を使用し、3時間に渡って殺虫・防虫処理を実施した。収蔵庫内は年間3回定期的に殺虫・防虫処理を実施している。

5. 文化財標柱設置

町内に所在している町指定文化財の標柱を平成12年度事業として3カ所設置した。標柱の設置箇所は、大河内、佐々木、河本に土地所有者の了解のうえ実施した。



(大河内庚申塔)



(佐々木庚申塔)



(河本庚申塔)

V. 普及教育事業

1. 出前授業

- ① 6月19日(月) 但東町立高橋小学校 3年音楽
(大岸・浅沼)
- ② 11月15日(水) 豊岡市立五荘小学校 2年生(金津)
- ③ 11月22日(水) 八鹿町立八鹿小学校 2年生(金津)
- ④ 12月4日(月) 出石町立弘道小学校 (金津)
- ⑤ 12月5日(火) 和田山町立東河小学校 2・6年生
(金津)

- ⑥ 12月7日(木) 福知山市立雀部小学校 4・6年生
(大岸)
- ⑦ 12月11日(月) 豊岡市立八条小学校 2年生(金津)
- ⑧ 12月12日(火) 日高町立西気小学校 全校生(金津)
- ⑨ 12月12日(火) 但東町立合橋小学校 (大岸)
- ⑩ 12月15日(木) 八鹿町立宿南小学校 (大岸)
- ⑪ 12月19日(月) 大屋町立西谷小学校 (大岸)

2. 普及事業

(1) 虫キャンプと川の学校

竹野町在住の自然インストラクター本庄四郎氏を講師に、8月3日～4日、1泊2日の虫キャンプを博物館周辺で行った。トラップや電灯に集まる虫を捕獲し、分別したり標本作りをした。

続いて8月4日、正法寺の出石川において川の学校を開き魚や水生昆虫の観察を実施した。

(2) 博物館教室

開催日	教室の内容	講師名	人数
8月3日 4日	虫キャンプ	本庄四郎	15
8月4日	川の学校	本庄四郎	16
8月7日	陶芸教室 1回目	金津匡伸	12
8月8日	オリジナルグラスづくり	金津匡伸	17
8月10日	陶芸教室 2回目	金津匡伸	15
8月11日	木でオオサンショウウオをつくろう	金津匡伸	10
8月24日	モンゴル絵画教室	D. ウルタナサン	6
8月26日	こわい話	淀逸郎	20
8月27日	赤い「そばのタネ」植えませんか	金津匡伸	10
11月3日	モンゴルパーティー料理教室	スーチンドロン	8
11月10日	版画教室 1回目	金津匡伸	13
11月10日	はんこづくり 1回目	渡辺保幸	15
11月24日	はんこづくり 2回目	渡辺保幸	14
12月3日	版画教室 2回目	金津匡伸	8
2月12日	かまくらづくり	職員・博物館協力会	75

(3) 企画展講演会

平成12年度は3回の企画展を開催したが、第12回企画展「但馬の虫」について、より多くの人に認識を深めていただくために講演会と展示説明会を開催した。

講師：本庄四郎氏（竹野町自然インストラクター）

「但馬の昆虫とクモたち」

と き：平成12年8月17日

場 所：体験交流室

参 加：13名

3. 博物館学芸員実習生の受入

富山大学文学部の学生（山本龍馬）1人を8月18日から26日まで、博物館業務の習得を目的に受け入れた。

当館での学芸員実習生の受け入れは今回が初めてである。指導内容は中世城郭の遺跡見学、博物館教室補助、近世文書の整理と解説、講演会の準備、受付補助などの実習をした。

【実習生の感想（原文のまま）】

一番の反省点は、言われたことしか出来なかったということである。その点については、このノートの中でも指摘を受けているのだが、前半は言われたことをするのが手一杯で他のことは全く見えていなかった。後半になると、ようやく少し慣れてきて時間的にも全く不可能という訳ではなかったのだが、結局自分から何かをしたいとは言い出せずじまいだった。休憩の時にはしっかり休めば良いと思うが、それ以外にも上手

くやれば時間は作れた筈である。予定を変更することは出来なくても、そういった時間に、他の職員さんに同行させて頂くようお願いしてみるとか、そういった方法は採れなかったものかと思う。

また、博物館に対するリサーチが足りなかったと思う。モンゴルの博物館ということで、そういった関係の本を読んでいったのだが、実際にどういった研究がされているのだとか、どういった業務が行われているのかといったところまでは考えて行かなかった為、話を聞いてもなかなか理解が出来なかったり、文書が読めなかったりして、職員の方には足手まといになってしまったのではないかと心配している。その時は、本を探してきたりした。それは無駄にはなっていないと思うが、果たしてそれに対応出来ていたかという点、そもそもいかなかった。実地調査の際は、本を頂いて事前に読んで行ったのだが、もう少し踏み込んだ内容とか、自分がどの様に考えるのかということの頭の中で整理しておけば良かったと思っている。

更に、仕事の速度が他の職員の方に比べてずっと遅かった。職員の方には「慣れた」と言って貰ったし、最後の日には最初の日と比較して若干要領よくこなせるようになったかなと（自分では）思っているのだが、それでも「てきぱき」という言葉とは程遠い状態だった。職員の方からは仕事に応じてその都度アドバイスをもらい、一つ一つのことに集中して行うように心掛けていたのだが、その先のことや、周囲の事までは気が回らなかった。

4. 「トライやるウィーク」の受入

兵庫県教育委員会の事業として中学生の地域体験学習「トライやるウィーク」で、生徒の希望に応じて博物館体験を5月29日(月)から6月2日(金)までの5日間受け入れた。本事業は中学2年生が1週間、学校を離れて地域社会での実体験を通して学習する試みとして平成10度より始まっている。

当館では博物館体験として7名を受け入れた。

博物館体験は但東・但東北中学校の2年生7名であるが、但東中学校2年(3名)堀江景太、坪木薫、藤野秀平。但東北中学校2年(4名)今本翔、小西裕也、坂本光繁、出水翔太。職員として大岸勝也、堀勝彦、渡辺律子、浅沼千裕の4名が担当し、開館までの館内清掃・体験農園の整備・受付業務・解説補助業務・赤花資料館整理・電話対応などの接客業務と博物館業務について研修した。

【参加者の感想】

◎ この1週間、いろんな事を学びました。この博物館ができてから13万人の人が来たこと、モンゴルの四季は春と秋が2週間・夏が3カ月、冬が8カ月で冬がとて長く-40度でとても厳しいことがわかりました。モンゴルの首都ウランバートルは高層ビルが立ち並び、ウランは赤い・バートルは英雄と言う意味だそうです。

◎ 博物館の仕事がどんなに大変か実感できました。この5日間で学んだことを学校で生かしていきたいと思います。大変お世話になりました。

◎ 館内の掃除はとて広くすごく大変でした。また、お客さんが団体で来たとき一緒に回っているいろんなことを知りました。プレーリードッグはとて可愛く、世話はすごく楽しかった。花植えは最後のほうしかまじめにしていっていませんでしたが、愛情をこめて植えるということを学びました。

2日目の赤花資料館の整理は、重い物はあるし、鳥の死骸はあるし大変でしたが、きれいになったのを見てとてうれしかったです。この1週間つかれたけどいい勉強になりました。迷惑もかけましたが、博物館の皆さん本当にありがとうございました。



(花苗の植付をする中学生)

5. 講師派遣

出前授業とは別に館外から依頼を受けて行った講師派遣を、月日・担当者・内容・(依頼者)の順に記録しておく。これらも広義の普及教育活動につながるとの観点から、業務に支障のない範囲で依頼を受け入れることにしている。

【平成12年度】

- ① 5月23日 金津匡伸 『モンゴルの過去と現代』
兵庫県いなみ野学園2年
- ② 7月25日 金津匡伸 『国際援助のあり方』
宮津ロータリークラブ

- ③ 8月3日 金津匡伸
『モンゴルの生活・習慣について』
小野市現代セミナー
- ④ 11月6日 金津匡伸 『学社融合の実践例』
学社融合コーディネーター養成セミナー
- ⑤ 1月19日 金津匡伸
『モンゴル国の遊牧騎馬民族のくらし』
生活共同組合コープこうべ・アジア・
グリーンロード運動支援大会

6. 出版活動

(1) 館外からの原稿依頼を受けて行った雑誌や機関紙等を記録しておく。これらも広義の普及教育活動につながるとの観点から、業務に支障のない範囲で依頼を受け入れることにしている。

- ① 「草原の香り、その民の心を伝えたい」
大阪市民大学センター

2000年6月号 No.3 17

7. ホームページの開設

近年、急速に発展している高度情報化社会にあって、当館と利用者との架け橋として、インターネットを利

用して、博物館情報を提供している。この活動は、利用者の皆様に親しまれる博物館として、より一層身近に感じていただけるよう、平成11年8月に開設した。このホームページ開設に当たり、兵庫県国際交流協会からパソコン一式寄贈を受けている。

ホームページでは、当館が所蔵する資料の紹介、利用案内、企画展や講演会などの催し情報等を、できるだけ最新の情報で提供している。職員による手作りのため決して満足いただけるものではないが、更新を重ねながら情報を提供していきたい。

博物館公式ホームページ

<http://www2.nkansai.ne.jp/off/monpak/>
博物館 E-mail アドレス

monpaku@mxn.nkansai.ne.jp

8. 子ども放送局

衛星通信を利用した教育情報通信ネットワークシステム（エル・ネット）子ども放送局受信設備を平成11年度文部省の国庫補助事業である「学習活動支援設備整備事業」により設置した。

放映は毎月第2・4土曜日のみであるが、ほかに教育関係者を対象にした研修に活用した。

VI. 国際交流事業

1. モンゴル国若手芸術家支援活動

前年度に引き続き、モンゴルの著名な画家として活躍しているD、ウルタナサン氏と彼の助手G、バルス

ポルド氏の2名を3ヶ月間招聘し、創作活動を支援した。滞在中に制作した全作品は当館に寄贈いただき、モンゴルの伝統絵画を紹介するコーナーとして展示する計画である。



(創作風景 1)



(創作風景 2)

寄贈いただいた作品は6枚の大作ばかりで、モンゴルの伝統絵画を駆使して描かれたものである。

- ① モンゴルの四季遊牧 (アクリル7,000 × 1,100mm)
- ② レーニンへの謁見 (アクリル1,020 × 600mm)
- ③ イフ・フレー (アクリル1,450 × 865mm)
- ④ 8代活仏 (アクリル700 × 550mm)
- ⑤ 8代活仏夫人 (アクリル700 × 550mm)
- ⑥ 釈迦と千体仏 (アクリル1,100 × 750mm)



(レーニンへの謁見)



(モンゴルの四季遊牧)



(イフ・フレー)



(8代活仏)



(8代活仏夫人)



(釈迦と千体仏)

2. モンゴル芸術家連盟副会長の来館

国際交流基金では、平成12年度文化人招聘事業の一環としてモンゴル芸術家連合・副会長であるL. ボルド氏を迎え、来日中の9月18日に来館された。

但東町では、町長をはじめ創作活動中のD. ウルタ

ナサン氏、G. バルスボルド氏、短期留学中のオヤンガ、ボロルマー並びに博物館職員と親交を深めた。



(L.ボルド氏来館)



(L.ボルド氏来館)

3. モンゴル国バヤンホンゴル県元副知事の来町

平成13年2月13日、温泉探査・掘削・家庭給湯の技術、地熱発電に関する研修、温泉による地域開発事例

研究のため来日中の、モンゴル国バヤンホンゴル県元副知事バヤルマグナイ氏が来町され、本町における博物館建設経緯・シルク温泉など地域開発事例を説明した。



(S.バヤルマグナイ氏来町)

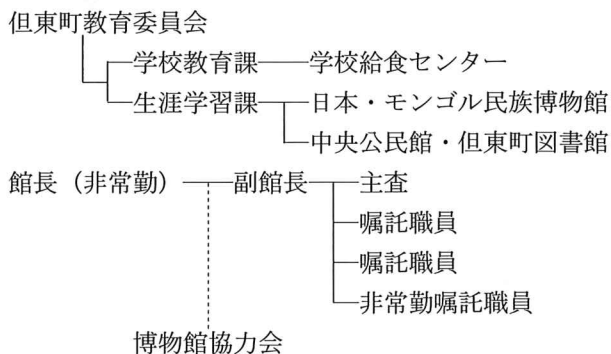


(S.バヤルマグナイ氏来町)

Ⅶ. 管理運営

1. 組織・職員 (平成13年3月31日現在)

(1) 組織



(2) 職員

館長	福田芳郎(平成8年11月～平成13年3月)
副館長	金津匡伸(平成8年11月～)
主査	大岸勝也(平成8年11月～)
非常勤嘱託職員	堀 勝彦(平成11年4月～平成13年3月)
嘱託職員	渡辺律子(平成8年11月～)
嘱託職員	浅沼千裕(平成11年4月～平成13年1月)

(3) 事務分掌

福田芳郎	博物館活動事業の推進
金津匡伸	博物館の管理運営、博物館の普及・広報活動、資料の収集・保管、資料の展示(常

大岸勝也 設・企画)、資料の調査研究、資料の説明、他博物館との連携活動
 堀 勝彦 博物館活動(講習会、教室、展示会等)、各種団体・機関との連絡調整、公民館との連携活動、博物館協会の管理運営
 渡辺律子 民俗資料・民俗資料館の管理運営
 浅沼千裕 歳入歳出予算及び経理、博物館の庶務入館者の受付・案内、公文書の経理、館内清掃に関すること

- ⑫ 企画展費 3,600 (報償費 50、需用費 3,550)
- ⑬ 活動費 1,912 (報償費 403、需用費 998、使用料 511)

[文化財費] 4,424 千円

- ① 文化財調査委員会費 268 (報酬 148、旅費 100、需用費 20)
- ② 埋蔵文化財調査費 320 (需用費 60、委託料 260)
- ③ 文化財調査保存費 1,846 (報償費 250、旅費 88、需用費 1,218、賃借料 290)
- ④ 緊急雇用就業機会創出事業費 1,990 (委託料 1,990)

2. 予算の概要(当初予算額)

[博物館費] 45,717千円

- ① 給料(2人) 7,490
- ② 職員手当等 13,045 (扶養手当 384、調整手当 394、通勤手当 393、時間外勤務手当 1,145、期末手当 4,324、勤勉手当 852、寒冷地手当 176、住宅手当 282、嘱託手当 5,095)
- ③ 共済費 1,385
- ④ 旅費 900
- ⑤ 需用費 12,015 (消耗品費 1,628、印刷製本費 991、光熱水費 9,096、営繕費 300)
- ⑥ 役務費 1,004
- ⑦ 委託料 2,079 (警備保障委託費 276、電気保安点検料 216、資料燻蒸 400、ガラス清掃委託料 183、フロア清掃委託料 282、軒先清掃委託料 84、自動ドア点検委託料 118、シルバー委託料 520)
- ⑧ 使用料及び賃借料 1,601 (使用料 1,601)
- ⑨ 備品購入費 500
- ⑩ 負担金 167 (県博物館協会 10、但馬地域博物館連絡会 25、テレビ組合 6、下水道分担金 126)
- ⑪ 公課費 19 (重量税 19)

3. 入館者利用状況

平成8年11月3日に開館してから4年5カ月が経過した。累計で141,475名の方に見学して頂いた。

平成12年度の内訳は下記のとおりであるが、利用者数29,178名で有料が17,389名、無料が11,789名である。但東町民の博物館利用は4,931名で全体の16.9%であり、前年度より町民の利用者が増加した。要因として伝承文化体験交流館が竣工し、それに伴う教室が増えたためであろう。最終的に、前年度比9.2%の増加となった。

また、雪の多い但馬というイメージから、通常は一般利用者の冬季における利用率が極端に低くなる傾向にあり、特に1月は豪雪により前年を大きく下回る結果になってしまった。全体を通して利用者が増えているが、季節や天候に左右されやすい環境には変わらない。今後は利用者本位での博物館運営が望まれ、それらに即した体験学習等を検討していく必要が求められていくであろう。

【平成8年度(開館日:123日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民								1,507	464	361	407	646	3,385
一般								2,409	1,052	960	1,173	2,545	8,138
高大								26	28	19	20	159	252
小中								183	37	103	96	367	786
その他								3,000	1	19	63	159	3,242
計								7,125	1,581	1,462	1,759	3,876	15,803
1日平均								297	69	58	73	144	128

【平成9年度（開館日：307日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	762	445	404	492	530	259	251	255	240	261	212	337	4,448
一般	4,251	3,262	3,100	1,898	2,882	2,085	2,232	2,736	1,172	833	1,153	1,666	27,270
高大	45	61	33	17	172	38	14	12	6	18	15	145	576
小中	436	418	109	149	544	213	147	102	32	66	39	199	2,454
その他	359	610	245	973	372	173	204	448	96	125	137	248	3,990
計	5,853	4,796	3,891	3,529	4,500	2,768	2,848	3,553	1,546	1,303	1,556	2,595	38,738
1日平均	234	178	150	136	167	106	110	137	67	54	65	96	126

【平成10年度（開館日：307日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	450	283	263	286	466	318	289	322	223	98	133	255	3,386
一般	4,712	1,719	1,173	1,051	1,607	1,120	1,582	2,271	935	1,727	2,307	1,213	21,417
高大	42	30	11	54	266	97	10	24	7	5	12	73	631
小中	561	152	41	66	322	43	36	65	29	37	33	127	1,512
その他	569	612	252	284	367	490	337	414	122	173	185	283	4,088
計	6,334	2,796	1,740	1,741	3,028	2,068	2,254	3,093	1,316	2,040	2,670	1,951	31,034
1日平均	235	104	67	76	112	83	83	119	57	85	111	75	101

【平成11年度（開館日：308日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	287	277	371	453	499	275	324	267	166	160	139	188	3,406
一般	3,975	1,707	1,149	1,084	1,966	930	1,380	1,526	738	720	664	821	16,660
高大	43	41	15	32	126	11	69	19	9	7	15	22	409
小中	602	190	10	59	280	29	44	41	21	41	38	95	1,450
その他	1,229	418	283	242	706	183	482	340	171	206	221	316	4,797
計	6,136	2,633	1,828	1,870	3,577	1,428	2,299	2,193	1,105	1,134	1,077	1,442	26,722
1日平均	227	98	73	69	132	60	85	84	48	47	43	55	87

【平成12年度（開館日：307日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	758	411	378	518	830	296	527	280	214	137	311	271	4,931
一般	4,308	1,494	1,043	976	1,362	1,087	1,363	1,145	733	410	834	869	15,624
高大	167	59	20	10	62	21	13	50	11	3	11	31	458
小中	559	181	17	61	194	50	37	26	42	38	42	60	1,307
その他	1,824	688	396	304	587	484	638	528	397	147	434	431	6,858
計	7,616	2,833	1,854	1,869	3,035	1,938	2,578	2,029	1,397	735	1,632	1,662	29,178
1日平均	272	105	71	69	117	75	96	88	61	32	68	62	95

4. 施設管理

(1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理を但東町シルバー人材センターに年間委託している。

(2) 補修工事

① A棟ロビー壁塗装工事

開館後4年が経過し、ロビー受付部塗装の一部が剥離したため、従来の塗装より強度が高く、汚れが目立ちにくいものに塗り替えた。



(ロビー)

② B棟創作室漏水工事

創作室にある2カ所の窓より漏水したため、窓枠周辺の壁面をカットしコーキング処理を施した。

③ B棟エアコンの漏電修理

全館のエアコンが非常停止したため、関係業者により調査した結果、B棟上部にある機械部より漏電が確認されたため修理した。

④ チングスハーン像バリカー設置

但東町内篤志家より寄贈いただいたチングスハーン像の周辺に、危険防止のため、立入禁止バリカー(ポール及びチェーン)を設置した。



(チングスハーン像)

5. 博物館協力会

博物館協力会は当館が位置する資母地区の住民から「いつまでも美しい建物にしよう」という声上がり、加藤廣己氏と塩川剛三氏の呼びかけで、平成9年2月10日に発足した。平成12年の活動内容は以下のとおり。

◎平成12年役員

(任期：平成12年1月1日～12月31日)

会長 塩川剛三

常任理事 宮垣孝敏 早水 宏

幹事 7名 役員 9名 顧問 5名

◎平成12年活動内容

【平成12年度】

2月10日 役員会

3月26日 博物館前販売所開店

4月2日 クリーン作戦(博物館周辺道路)・伝承文化体験交流館竣工式(会長)

5月19日 国際交流協会総会(会長)

6月17日 カンナ植付・コスモス種蒔

7月2日 博物館芝生広場草取り・太田川草刈り

8月30日 モンゴル留学生歓迎会(会長)

10月8日 博物館駐車場にて如布神楽披露

11月19日 博物館前販売所閉店

12月3日 役員会

3月から11月まで延べ50日、博物館前の販売所にて観光案内と土産販売を実施し、ボランティア160人の協力を得た。

6. 博物館日誌抄

4月2日 伝承文化体験交流館竣工式(出席者56名)

4月3日 辞令交付式、館内エアコン定期点検

4月11日 綾部市天文館より資料の返却

4月15日 大阪市民大学センター取材

4月21日 豊岡南高校125名校外研修

4月24日 NHK取材、和田山町文化財審議委員2名視察、関西学院大学片寄俊秀教授2名来館、コウノトリの郷藤原氏視察

4月25日 但東中学校160名校外研修

伝承文化体験交流館監査(但馬県民局振興課)

5月2日 豊岡市広井教育長視察

5月5日 毎日放送取材

5月16日 文化財調査委員会

5月19日 神戸新聞取材、トライやるウィーク説明会出席(渡辺)、兵庫県博物館協会総会(大岸)

5月22日 宮津ロータリークラブ中村氏・小林氏視察

5月27日 北京都地学研究会片岡道雄会長視察

5月29日	トライやるウィーク開始（～6月2日）	9月21日	網野町橘小学校85名校外研修
5月30日	在モンゴル日本国大使館S. デンベレル氏表敬訪問	9月23日	タウン編集室取材、大新社取材
6月5日	神戸新聞取材	9月26日	峰山町峰山小学校59名校外研修、丹波ふれあい講座26名
6月6日	大阪市民大学センター視察	10月2日	日高町社会科担当者研修4名
6月17日	土曜ふれあい学級で博物館周辺の環境整備	10月3日	チンギス・ハーン騎馬像絵画コンクール受賞式
6月29日	時を奏でるホテル10名視察研修	10月7日	豊岡市田鶴野小学校2年PTA活動79名
6月30日	法政大学建築学科3名ゲル宿泊体験、大江町役場2名視察	10月8日	神戸国際協力交流センター藤田伸一事業部長視察
7月2日	モンゴル料理店スーチンドロン氏視察、如布区による太田川の環境整備作業 落雷のため火災放送設備、防犯カメラ故障	10月10日	朝日放送取材
7月8日	るるぶ兵庫取材	10月18日	奈良県川上村議会16名視察研修
7月17日	合橋小学校24名校外研修	10月20日	加悦町加悦小学校6年59名校外研修
7月18日	平成11年度会計監査	10月23日	神戸新聞取材
7月27日	但東ライオンズクラブ主催による留学生(17～21才)10名視察	10月24日	文化財調査委員会
8月1日	お話し会開催	10月27日	但馬教育事務所福本氏打合
8月2日	モンゴル人画家D. ウルタナサン氏・G. バルスボルド氏来日	10月28日	D. ウルタナサン氏、G. バルスボルド氏帰国
8月3日	虫キャンプ開催	10月29日	在ニューヨーク総領事館深川正明医務官視察
8月4日	川の学校開催（出石川）	11月3日	モンゴル料理教室開催、西脇北高等学校進藤俊雄校長視察（モンゴル帰国挨拶）
8月5日	韓国麗都初等学校yoon hyo il校長視察	11月6日	学社融合コーディネーター養成セミナー開催30名
8月9日	毎日新聞、読売新聞、神戸新聞取材	11月7日	高橋小学校学年PTA活動33名来館
8月10日	陶芸教室開催（20名）	11月10日	篆刻教室開催
8月12日	三田市教育委員会社会教育課芦田匡氏視察	11月13日	ふるさと兵庫を探訪するいちのみやの会83名視察、猪名川町白金小学校武田邦治教頭視察、コープこうべ2名視察
8月13日	開館時間の延長～20:00（～15日）	11月18日	近畿ツーリスト7名視察研修、天理大学歴史文化学科6名視察
8月14日	神戸新聞取材	11月19日	版画教室開催
8月17日	企画展講演会開催（講師本庄四郎氏）	11月21日	全館燻蒸処理
8月18日	学芸員実習生受入（富山大学1名～26日） 西脇高等学校進藤校長視察、日本海新聞取材、八戸工業大学高島教授農村歌舞伎舞台追加調査（～20日）	11月23日	全国子ども会連合会6名視察
8月20日	一橋大学名誉教授田中克彦氏来館	11月24日	和田山町枚田小学校2年33名校外研修
8月21日	亀ヶ城測量調査開始	11月27日	和田山町枚田小学校2年32名校外研修
8月24日	絵画教室開催	11月30日	毎日新聞、産経新聞、読売新聞、神戸新聞取材
8月26日	但馬観光アクションプログラム農村体験コース12名来館	12月1日	NHK「とっておき関西」6名取材、新日本海新聞取材
8月28日	サンテレビ、神戸新聞取材	12月3日	博物館協力会総会
8月29日	体験学習「モンゴルの遊び」開催、朝日新聞取材	12月6日	神戸新聞取材
9月3日	サンテレビ取材	12月7日	北海道占冠町企画課泉一彦課長他1名視察
9月8日	フジテレビ取材、但馬社会教育主事研修会21名視察	12月18日	峰山町五箇小学校2年生20名校外研修、野田川町三河内小学校2年生32名校外研修
9月16日	D. ウルタナサン氏・G. バルスボルド氏FMジャングル出演	12月19日	植村直己冒険館2名視察
9月18日	モンゴル芸術家連盟副会長L. ボルド氏視察	1月12日	神戸新聞取材、モンゴル国際経済商科大学学生2名視察

1月16日 コープこうべ借出資料引取
 1月19日 コープこうべ主催「アジア・グリーンロード
 運動支援大会」
 1月26日 養父郡教頭研修会22名
 1月28日 紙芝居・人形劇開催
 1月30日 文化財パトロール
 2月6日 関西テレビ取材
 2月10日 篠山市教育委員会公民館松浦龍司副館長視察
 2月12日 体験学習「かまくらを作ろう」開催 108名参加
 2月13日 「21世紀の生涯学習入門」取材、栃木県オオ
 シマフォーラム3名視察
 バヤンホンゴル県前副知事S. バヤルマグナイ氏他2名来館
 2月14日 モンゴル国エンヘバヤル首相歓迎会出席（金
 津）
 2月16日 博物館協力会総会
 2月17日 加美町交流協会21名視察研修
 2月18日 産経新聞取材
 国立科学博物館でミュージアム・マネージメ
 ント研修（～23日、金津）
 2月24日 峰山町商工会5名視察
 2月25日 久美浜町佐濃小学校2年PTA活動32名
 2月27日 八戸工業大学高島成侑教授、農村歌舞伎舞台
 報告書の打合
 2月28日 香寺町観光協会29名視察、日本玩具博物館井
 上重義館長視察
 3月4日 西念陶器研究所17名視察
 3月9日 徳島県那賀川町教育委員会広田次長2名視察
 3月11日 グループ泉42名視察、伊丹市聴力障害者協会
 48名視察
 3月13日 出石町寺坂小学校2・3年生20名視察、和歌山
 放送局資料貸出し
 3月15日 福知山学園（成人養護施設）41名視察、但東
 町新任職員研修受入
 3月17日 高砂市職員退職者互助会35名視察
 3月19日 女性学級
 3月22日 但東町新任職員研修受入
 3月26日 MBS毎日放送取材
 3月27日 但馬県民局中島次長転任あいさつ来館
 3月31日 浜坂町いわつばめ福祉作業所26名視察

7. お客様の声より抜粋

以下は平成12年度の来館者の声を抜粋したもので、
 博物館職員としては真摯に受け止め今後の運営に活か
 したいと考えている。

- ◎ 4月1日（女性）
 初めてひとりで京都から、中藤のおばあちゃんの家
 に来て、モンゴル館にきました。
- ◎ 4月6日 京都府綾部市（男性）
 春光のどかに天地を照らす当地の但東町。モンゴル
 は如何に、今冬は大変な雪害と聞く、すみやかな復興
 を願う。
- ◎ 4月9日 兵庫県青垣町（女性）
 すごく立派な博物館でビックリしました。博物館と
 いうと、ただ展示してあるだけで、興味はあっても見
 てるだけでは眠くなるので、足が遠のいてしまいます
 が、ここはプレイミュージアムという民族衣装を着たり、
 楽器に触れることのできる体験ゾーンがあり、と
 てもおもしろく楽しめました。展示にもあきさせない
 工夫がしてあり、写真からもモンゴルの雰囲気がいっ
 ぱい伝わってきました。今までのモンゴルのイメージ
 が、ここに来てまた新しい情報を得たことによって、
 より具体的なものになり、益々モンゴルに行ってみたく
 くなりました。どうして但東町とモンゴルの間で国際
 交流が始まったのか、それを知りたいです。その辺の
 ことも挨拶のところでも示してもらえれば嬉しいで
 す。益々ががんばって下さい。
- ◎ 4月15日（男性）
 あいにくの雨でした。チューリップには全く早すぎ
 たので、ここへ来ました。はじめは但東町＝モンゴル
 ……何でやねんでした。シルクロード＝ちりめん、なん
 んやろなと思いましたが、合ってますか？すばらしい
 博物館です。
- ◎ 4月18日（男性）
 今日は仕事が休みなので、チューリップまつりに来
 てみました。そのついでになってしまいましたが、こ
 こは面白いかも。モンゴルに行ってみたいな。
- ◎ 4月19日（女性）
 チューリップを見に来て立ち寄りしました。日本とよ
 く似ているので驚きました。毎日の生活に追われてい
 る者にとっては、少しの外国へ来たという雰囲気に浸
 りました。
- ◎ 4月20日（男性）
 今日は仕事を休んでチューリップを見に来ました。
 花の方はもう少し早かったかなー？と思います。それ
 に風が冷たい日です。ちょっと話の種にモンゴル博物
 館に寄りました。中に入っていくうち、日本人の生活、
 顔等とても良く似ていると思います。まだ入り口に近
 いところですよ。これからどんどん進んで行ってしまし
 ょう。

- ◎ 4月22日 兵庫県香住町（男性）
チュールリップ畑を見に来て、ついでにここへ立ち寄りしました。カッコ良かった。無駄のない生活、日本人が見直す大事なことを知りました。
- ◎ 4月22日 韓国釜山市（男性）
西暦2,000年4月22日、釜山からこの博物館見学に来ました。大変よい施設で参考になりました。
- ◎ 4月22日 京都府野田川町（女性）
子どもが小学校の行事で一度来たことがあり、また行きたいと言って、子どもとその友達と一緒に来ました。チュールリップも見て来ました。とてもすてきでした。また来年も来たいと思います。夏にはひまわり畑がありますので、野田川にも来て下さい。
- ◎ 4月24日（男性）
お客様の紹介でチュールリップ見に来て、この博物館に入りました。すごいですね。
- ◎ 4月25日（男性）
見ごたえがあつてびっくりしました。また来たいです。ありがとう。
- ◎ 4月25日 滋賀県高月村（男性）
城崎の帰りに偶然にチュールリップ祭りに立ち寄りしました。またモンゴル館へ入場し、思いがけない所に出会い、楽しいめずらしい物ばかりで感動致しました。昼時でしたので、これにジンギスカン料理でもあったら、土産話に花が咲くかとも思いました。
- ◎ 4月29日 京都府舞鶴市（女性）
舞鶴から家族で来ました。小学3年と小学6年の子どもたちが大喜びでした。特に小学3年の子は、2年のときに習った「スーホの白い馬」の話を覚えていて、馬頭琴を見て喜んでいました。
- ◎ 4月29日（女性）
チュールリップを見に来たついでに入ったのですが、こんなゲルの中まで入れて感激です。入館して良かった。300円の入館料も安い!!
- ◎ 4月30日 兵庫県篠山市（女性）
チュールリップ祭りの帰りに寄せてもらいました。立派な資料の収集に感心しました。ゲルの暮らしを想像してシンプルな暮らしを真似たいと思います。
- ◎ 5月3日（女性）
やっと念願のモンゴル民族博物館へ来ることができました。新聞、テレビなどで大変興味を覚え、今日初めて来ました。モンゴルの生活を見ることができ、大変うれしいです。思った以上に楽しかったです。
- ◎ 5月4日（女性）
実際に手に触れることができたり、分かりやすく説明されているのでとっても楽しく見ることができました。読書ルームは最高です。フォークダンスをしている者ですが、モンゴルの文化・舞踊についても知りたいたいと思いました。
- ◎ 5月5日（女性）
モンゴル博物館は去年の夏休みに来たけど、もう一度見てもおもしろかった。子供の日でキーホルダーももらった。
- ◎ 5月5日（女性）
ゲルの中は思ったより広く清潔で驚いた。私の家よりもキレイだった。
- ◎ 5月6日 横浜市青葉区（男性）
シルク温泉、やまびこに泊まり、城崎に行く途中寄りしました。日本モンゴル民族博物館は予想以上の展示品があり、驚きました。ゆっくり見学できて良い思いでになるでしょう。家族揃っての旅行にすばらしいひとときでした。
- ◎ 5月6日 神戸市西区（男性）
モンゴル音楽を聴きながらモンゴルを訪問した気分。ゲルの中を実際に見て感激。曼陀羅を拝見して優しい気分。簡素化され、整頓された生活の用品に感心するばかり。ゆっくり静かな時を過ごせました。
- ◎ 5月6日 兵庫県出石町（女性）
近くの町にいながら、主人に連れられて初めてモンゴルの文化に触れることができました。この感激を胸に抱いて頑張ります。この立派なお城を作って下さった但東町の皆様ありがとうございました。
- ◎ 5月9日（女性）
国際協会で里親交流会に、モンゴルの水ギョーザとスープを作るので、モンゴルのことを知りに来ました。人々の生活と食文化の違いにびっくり。
- ◎ 5月12日（女性）
久美浜に行く途中に立ち寄りしました。ほんのひとときですが、異文化に触れる事ができました。また来たいです。椎名誠さんの映画「白い馬」いいですよ。
- ◎ 5月14日（女性）
神戸と芦屋と伊丹から、女の子4人で来ました。そのうち2人は地元出身で2回目です。楽しませて頂きました。いつかモンゴルに行きたいです。
- ◎ 5月18日（女性）
この館ではモンゴルの衣装も自由に着ることができ、ビデオを見たり、モンゴルの中にいる、ほんのアツという間の体験ではあっても、大変やさしい暖かな感じ、そして自然の厳しさに思いをはせました。モンゴル、いい一日でした。

- ◎ 6月4日 高槻市 (女性)
[スーホの白い馬] が内モンゴルの話だったことが分かり、モンゴル人の友人が知らなかったことを納得しました。図書も多くの種類があり、手に取る展示は子どもにとって本当に楽しい博物館だと思います。
- ◎ 6月4日 加東郡社町 (女性)
意外なところで意外な発見をした思いです。チンギスハーンにあこがれ、モンゴルに興味をもちました。現代モンゴルに接することができて楽しい思い出が残ります。
- ◎ 6月5日 (女性)
バスガイド教習で来ました。モンゴルいいですねえ。うーん、どうでしょう!?
- ◎ 6月9日 京都市 (男性)
モンゴルについて余り知りませんでしたがよく分かりました。
前から来たいと思っていましたが今日やっと時間がとれました。きれいで、ゆっくりできる博物館ですね。モンゴルの食事ができればもっといいな。他の博物館や展示会に比べて思うことですが、食文化ってその国の文化を知るうえで重要だと思うから。
- ◎ 6月17日 神戸市 (女性)
ゆっくり落ち着いた雰囲気、子ども連れでも飽きない工夫があり予想よりずっと素敵な時間がすごせました。
- ◎ 6月19日 (男性)
モンゴルのさまざまなことを知ることができました。見学者に優しい博物館だったと思います。
- ◎ 6月29日 愛知県刈谷市 (女性)
大学でモンゴル研究会をしています。モンゴルの文化についてよく分かる展示だと思います。ノモハン事件のことなども展示されると勉強になると思います。
- ◎ 6月29日 (女性)
大学でモンゴル研究会にはいっています。3年前にモンゴルに行きました。今年も9月に行く予定です。但馬との深いかかわりに驚きました。
- ◎ 7月1日 東京都 (女性) 藤沢市 (女性) 千葉県茂原市 (女性)
ゲルの組み立てからすべてにおいて、とてもよい経験ができました。また、職員の皆様には大変世話になり本当にありがとうございました。
- ◎ 7月1日 豊岡市 (女性)
実際にゲルに入ってみたいゲームができて楽しめる博物館だと思います。プレーリドッグいたのもびっくりしました。知らない国のことが分かるのって楽しいですね。
- ◎ 7月4日 (女性)
実際に見たり触ったりできるところがよかったです。とてもよく計画されている博物館だと思いました。もっと多くの人に来てもらいたいです。
- ◎ 7月4日 東京都 (女性)
英語で説明があるといいですね。実際に体験できるのがとてもよかったです。
- ◎ 7月9日 東京都 (男性)
東京からバイクで一人旅、出石から天の橋立に行く道中モンゴル博物館が見えました。どんなとこかと立ち寄ってみました。第一の感想は「とってもおもしろい」、なぜモンゴルかは分からないがたくさんの知識を得ることができました。機会があればぜひもう一度来てみたい。
- ◎ 7月15日 京都市 (女性)
興味があり5月に来ましたが休館でした。万博会場跡の博物館で世界の民族展を見て以来モンゴル文化に関心を深めています。この素晴らしい施設をもっと多くの人にアピールして、国際交流の輪を広げられては……。次はもっと歴史を勉強してから来たいと思います。
- ◎ 7月23日 京都府城陽市 (女性)
5日間モンゴルに行って来ました。とても素晴らしい国ですっかりはまってしまいここに来ました。ここに来て、少しの間でしたがモンゴル気分になることができ、とても嬉しかったです。
- ◎ 7月25日 福知山市 (女性)
手にとって見れるものや、触れるものがあってすごくよかったです。興味があったゲルにもはいれ満足しました。
- ◎ 7月30日 綾部市 (女性)
本日は、とても詳しく説明していただき今までよりもよく学習できました。
- ◎ 7月30日 豊岡市 (女性)
全部見せていただき、展示物・トイレその他とてもきれいで気持ちがよかったです。昔の住居もなつかしく、しばらく座っていました。ありがとうございました。
- ◎ 7月30日 (男性)
ナビ任せでちょっと立ち寄ったつもりでしたが、じっくりと見学してしまいました。自宅の近くに万博民族学博物館がありますが、そこよりもずっと豊富な資料に出会えました。
- ◎ 8月3日 但東町 (男性)
私も小学校のころ昆虫採集に熱を入れた一人です。今日は、孫と見に来てとても喜んでくれました。良いイベントでした。

- ◎ 8月3日 (女性)
初めてここに来ました。いろいろなものが展示されており、中でも「スーホの白い馬」のお話があり2年生のとき習ったのを思い出しました。とてもよかったです。
- ◎ 8月5日 兵庫県高砂市 (男性)
入館時間が遅くゆっくり見られなくて残念でしたが、モンゴル画家の作品制作が見られ、会話もできて幸せでした。近いうち、ゆっくり来させていただきます。
- ◎ 8月5日 兵庫県小野市 (女性)
ここに来るのは3回目になります。「スーホの白い馬」のお話し、かわいそうで仕方なかったです。いつ来ても最高。今日はモンゴルのことを調べに来たのでとても参考になりました。
- ◎ 8月5日 兵庫県小野市 (女性)
今回で3回目、毎回子どもたちはすごく楽しみにしているようです。夏休みの宿題ということで家族で来ました。暑い夏、仕事に疲れもたまっていて……、でもここに来ると何か静かな気持ちになれます。次はいつ頃来ることになるのかな。
- ◎ 8月6日 大阪市 (女性)
展示品が豊富でとても楽しめました。私も馬に乗ってモンゴルの草原を走ってみたいです。ゲルもすてき。帽子かぶったらよく似合うと言われました。
- ◎ 8月6日 (女性)
但東町に住む親類と7人で来ました。前からみたいみたいと思っており、やっと来れてすごくうれしい。子どもたちもすごく喜んで、帽子をかぶったり衣装を着て写真を撮りました。「スーホの白い馬」は小学校のとき習い、すごく印象に残っていたので28年ぶりに話を聞いてすごく感動しました。モンゴルの食生活、日本とよく似ているんですね。展示品もたくさんあり、ゲルにも入れモンゴルのことがよく分かったような気がします。
- ◎ 8月8日 静岡県清水市 (男性)
モンゴルの生活文化に触れて意外な感を深くしました。伝統的な文化を尊重したいですね。本館は貴重な存在です。東井先生を敬服しています。
- ◎ 8月12日 神奈川県中郡 (男性)
道に迷って、思わぬところにこんな素晴らしい博物館があったとはとても驚きました。一度モンゴルに行ってみたくまりました。
- ◎ 8月13日 (女性)
実物のゲルを見たのは初めてです。大平原の中での生活はどんなにかしら。日本人には特殊なものでしょうがモンゴルの人々はこれが日常、ゲルの移動生活も少なくなってきたらいいですね。
- ◎ 8月13日 宮崎県 (女性)
ここではモンゴルのことがとてもよく解りました。ゲルの中にも入れて感激です。また、モンゴルの絵かきさんにもお会いできてとても良かったです。これからも絵をかくのを頑張ってください。
- ◎ 8月14日 兵庫県明石市 (男性)
素晴らしい展示品と企画でした。モンゴルとの交流も素晴らしいし、大きな感動を受けました。
- ◎ 8月17日 (女性)
前回来たときと展示内容が変わっていて新鮮で良かったです。
- ◎ 8月17日 宝塚市 (男性)
旅の途中、見つけて来ました。大変良かったです。もっとモンゴルのことが知りたいし、行ってみたい。馬頭琴の音色を大草原の中でぜひ聞きたいしどんな音楽が生まれるのか楽しみです。
- ◎ 8月17日 兵庫県神戸市 (女性)
小学2年のとき「スーホの白い馬」を習い、モンゴルに興味をもち見学できて良かったです。
- ◎ 8月17日 宝塚市 (女性)
思いがけず良いものに出会いました。大草原で生まれる音楽はどんななのでしょう。モンゴル芸術家の絵、実際にみることでできて感激でした。
- ◎ 8月17日 兵庫県加古川市 (女性)
虫の展示すごかったです。クイズやボタンを押して聞いたり見たり、とても良い体験でした。
- ◎ 8月19日 東京都 (女性)
博物館なのに触れるものが多くあり楽しかった。スーホの話も良かったし、プレーリドックもかわいかった。
- ◎ 8月19日 兵庫県揖保郡 (女性)
子どもが想像以上に興味をもってくれました。入館して良かったです。
- ◎ 8月22日 兵庫県姫路市 (女性)
運よく画家のウルタナサンが描いておられたので感動しながら見せて頂きました。絵も買ってとても嬉しかったです。
- ◎ 8月26日 大阪市 (女性)
モンゴル民族博物館に来てとても興味をもちました。本当にここに来て良かったと思います。
- ◎ 9月14日 大阪府茨木市 (女性)
モンゴルの衣装が着れてとても満足しました。友達を待たせていますので、今度ゆっくりと来ます。
- ◎ 9月14日 大阪市 (女性)
チロリン村の帰り道、ここに寄りました。昨日は誕生日、とてもうれしい日でした。今日はモンゴルの衣装が着れ、記念写真を撮りました。昨日と今日は私にとって、とっても嬉しい2日間でした。

- ◎ 9月17日 神戸市（女性）
モンゴル衣装を着て、ゲルでくつろいでとても楽しい一時でした。モンゴルの異文化に触れ、いつの日か実際に旅をしたく思いました。
- ◎ 9月17日 神戸市（女性）
衣装を着て写真が撮れるのがとてもよかったです。モンゴル料理が食べられるといいなと思います。
- ◎ 9月24日（女性）
昔の造りの建物がとても楽しかった。細かいところまでちゃんとできていて、また来たいと思います。
- ◎ 9月24日 兵庫県養父郡（女性）
展示物もすごいです、建物自体すごく綺麗でよかったです。今日は時間が遅かったので、またゆっくりと来ます。
- ◎ 9月30日（女性）
以前モンゴルで1週間過ごしました。今にも落ちてきそうな夜空の星に感激しました。日本は物が豊かで不便を感じることは稀ですが、自然に溶け込んだモンゴルの生活の素晴らしさを改めて感じます。この博物館はとってもモンゴルのことがよく分かり、もっと多くの人に知らせて欲しいですね。すっかり楽しませて頂きました。
- ◎ 10月5日 兵庫県養父郡（女性）
「スーホの白い馬」のスライドよかったです。幼い頃祖父母に聞かされた昔話を思い出しました。絵を描いておられた方の説明もよく分かり、何もかもよかったです。帰って地域の人にも薦めておきます。
- ◎ 10月9日 大阪府豊能郡（女性）
モンゴルの絵画が美しく、また作者の方とお話できて嬉しかったです。簡単なモンゴル語パネル[あいさつ程度]を造られたらどうでしょうか。
- ◎ 10月14日 京都府宇治市（女性）
昆虫のクイズ、2問あたったけど3問だめでした。答えられなかったのは全部勉強になりました。
- ◎ 10月15日 京都府福知山市（女性）
子どものおむつ替えに応接室を借りました。子ども連れでも困らない設備もほしいです。また、画家の方が話しかけて下さいましたが会話ができませんでした。簡単な通訳の方があれば、お互い楽しめたのではないかと思います。
- ◎ 10月19日（男性）
よかったです。昨日来たら休みのところ……、危なかった。日本の歴史をつくった一つの文化だと思います。顔もそっくり。
- ◎ 10月21日 神戸市（男性）
静かに全部みることができました。生活用具はよく分かりませんが、どのように使っているのか写真か、ビデオがあればよいと思いました。モンゴルに行ってみたくするような生活の匂いを作って下さい。
- ◎ 10月29日 兵庫県加西市（女性）
モンゴル民族の生活・国の様子がよく分かりました。思いもかけず楽しい時間がもてました。
- ◎ 10月30日 大阪市（女性）
父がモンゴルへ行ったときの写真を生前見せてくれました。明治35年生まれで20歳代と言っていたので80年前のことです。エスペラントの文字と言葉を広め、国々が仲良くしようと世界共通の言葉と文字を教えに行ったそうです。
- ◎ 11月3日 大阪府（男性）
地元の資料館でこちらのパンフレットを見たことがあります。今日は、近くまで来ましたので是非と思いい来ました。学校では、遊牧民族のことはあまり習わないので知らないことが沢山ありましたが、来てみるとよく分かりとても興味深かったです。
- ◎ 11月9日（女性）
素晴らしい展示品です。70歳になっても行けるような人の温もりを感じました。
- ◎ 11月10日 兵庫県出石郡（女性）
町内の中学生です。モンゴルからの留学生は優しくて日本語もペラペラ、モンゴルのことを沢山教えてください。わたしも一度モンゴルに行きたいです。
- ◎ 11月10日 モンゴル国（女性）
私は日本に来てとてもうれしいです。モンゴルのことを日本の人びとに教えるために、きれいなはくぶつかんつくった。日本のみなさんにかんしゃしています。ボロルマーより
- ◎ 11月11日（男性）
マラソンの開会式で、ゴビ砂漠のことについて話がありました。私は一度来たことがあり、旧満州にもいたことがあり多少のことは知っていましたが、こんな素晴らしい施設をもっともっと知らせることを望みます。
- ◎ 11月12日 神戸市（女性）
館内が明るくきれいで静かにゆっくり見ることができました。折角の展示品、地震が怖いので大切にして下さい。また、車以外では便が悪く車のない年配の方が来れる方法があればと思いました。
- ◎ 11月13日 兵庫県津名郡（男性）
モンゴルのことはテレビなどでかなり知っていると思っていたのですが、今日数々の展示品を見て感銘いたしました。歴史の流れ、民族の素晴らしさを思います。
- ◎ 11月18日 兵庫県伊丹市（女性）
主人が大阪外大のモンゴル語学科でしたのでとても興味深く見せていただきました。

◎ 11月23日 (女性)

ドライブの途中で見つけて、休憩も兼ねて入りました。彼と二人で色々見て、今まであまり興味がなかった分野だったので新鮮に感じた。ゲルはTVで見るが、入ったりしたことはない(当たり前か)ちょっと感動した。思いでの一つになりそうです。

◎ 11月23日 (女性)

久々に来ました。中がずいぶん変わっていて、モンゴルのことが前よりずっと分かりました。実は私たちのクラスに9月から11月17日までいたオヤンガが来てくれていました。モンゴルでは日本系(木造)の家だそうです。モンゴル博物館やオヤンガから、もっといろんなことを学びたいです。オヤンガはもういなくなりましたが、手紙でまたいろんなことを教えてほしい。モンゴル博物館にまた来ます。そして、モンゴルに行ってみよう。

◎ 11月27日 兵庫県養父郡 (男性)

私も昆虫が好きなので楽しく見せていただきました。広範囲に採取されており、改めて自分も頑張りたいと思います。

◎ 12月2日 (男性)

大阪万博公園内の国立民族学博物館にて同様のゲルを見ていました。モンゴル共和国と但東町との関係、以前によくここができたことを聞き、一度は訪ねたいと思っていました。すばらしい設備、展示内容で次世代にもつなげたいと思います。

◎ 12月3日 (女性)

天井の梁にも細かく細工してあり、また家具も模様がおしゃれでよい。薄暗いのがかえって落ち着きこのような暮らしにあこがれます。いつかモンゴルを旅してみたいです。来て良かった。

◎ 12月9日 (女性)

はじめてモンゴル民族博物館に来ました。モンゴルの家は入り口は小さくて、ベットもすこし小さかったです。でも、天井は高くてびっくり。モンゴル人はこんな家で暮らしていることが分かりました。また来たい。

◎ 12月9日 兵庫県明石市 (女性)

モンゴルと文通しています。学校から地図をもらったので来ました。

◎ 12月14日 (男性)

案内板を見て来ました。すごい気になるなあ……って思っ。デールを着て写真を撮りました。彼女と初めてのクリスマス大変よい思い出です。

◎ 12月24日 (女性)

モンゴル博物館は2回目ですが、面白いです。この前来たときはずいぶん雪が積もっていたので印象も違

いました。モンゴルにとっても興味が湧きました。馬頭琴とか、ホーミーとか、すごく素敵でした。衣装もきれいでいいですね。また来たいです。マンガの蔵書も面白かった。

◎ 1月5日 (男性)

家族4人で来ました。小学校で習ったスーホの白い馬やテレビでモンゴルの事を見たりしていたので、とても興味深く見学できました。子供がとても喜んでくれたので、良かったです。モンゴルの服を着て写真も撮りました。家族全員で大はしゃぎしました。

◎ 1月6日 大阪市 (男性)

民族楽器に興味があり、ホーミーや馬頭琴についてもっと知りたい。私もオーストラリアの先住民の楽器(アボリジニ)の奏者なのでライブがあればセッションしたいと思います。

◎ 1月7日 (女性)

こんなモンゴルのはくぶつかんがあるなんて知らなかった。モンゴルの人のふくとかを着てよかったですよ。楽しい!これからもおしごとがんばってね。

◎ 1月8日 (女性)

教科書の中に出てきたスーホの白い馬のモンゴルにやって来ました。とってもおもしろいよ、楽しいよ!来て良かったです。

◎ 1月8日 (男性)

馬頭琴、スーホの白い馬を見ました。服を着て写真をとりました。モンゴル人になりました。外は大雪、モンゴルも同じかな?

◎ 1月21日 兵庫県城崎郡 (女性)

小2の娘が国語で「スーホの白い馬」を学習中で、モンゴルに興味をもったので連れて来ました。また一段と国語の授業に身が入ることでしょう。

◎ 1月28日 兵庫県西宮市 (男性)

出石そばの帰りに来ました。思っていたよりも広くて充実していた。もっともっと宣伝してみたらどうですか?いいと思いますよ。

◎ 2月4日 (男性)

通りがかって1回目、もう一度見たくて2回目、もっと近くにあれば頻りに立ち寄りたところです。

◎ 2月9日 (女性)

鳥取よりはるばる来ました。子供の教科書を思い出しました。メール友達に教えられて、はじめて但東町に来ましたが、とても気持ちの良い町です。これからシルク温泉に寄って帰ります。

◎ 2月10日 兵庫県姫路市 (男性)

他国の歴史・文化に触れることは見識が高まります。今後子どもたちを始め広く皆さんに異文化を広め、地球的規模での交流を深めることが大切であると思います。

◎ 2月11日 兵庫県西脇市 (男性)

モンゴルを旅したことがあり、とてもなつかしく感じました。ちょくちょく来られたらと思います。日本とモンゴルの交流、もっと進めば良いですね。何か催しのあるときは知らせてください。

◎ 2月18日 兵庫県出石郡 (女性)

新聞を見て来館しました。地元において何かの機会がないとなかなか時間を作れなかったが、お土産品の数々を展示しているとのことで楽しみに来ました。これを記しているテーブルセットがとてもかわいいので、わが家にもほしいなあと思いました。さあー、これからゆっくり見学します。装飾品がかわいい物ばかりでした。来て良かったです。ありがとうございました。

◎ 2月18日 京都市 (女性)

あこがれのモンゴルに来たような夢のような気持ちです。500円でこんな体験ができるなんて、もっと皆さんに教えてあげたい。本物のゲルに入れて、本当に有り難うございました。きっと行ってみたい。

◎ 2月20日 神戸市 (男性)

一年ぶりのモンゴル館(3回目です)何回目でもこの館はいいですネ……！ゲルの中に生活用品が置いてあって自由に触れるのが、斬新というか他の場所ではまず無い……と思う。前は確かモンゴルの服もあって、試着できたみたいなんです……。今はクリーニング中かな？プレーリードッグたちも冬眠中かな？今から探しに行ってみよう。

◎ 2月22日 (女性)

いつか来ようと思いつつなかなか来れなくて思い立ってから早数年、やっと来ました。すごくゆったりした気分になりました。但東町にあるのが良いのかも知れませんが、ゲルの中で聴くホーミーは本当に良い気持ちです。本当のモンゴルは寒さなんかで大変なんだろうが。「草原の恋」(確か?)というモンゴルの映画を観てからさらにはまっています。

◎ 2月23日 (女性)！

宮津に越しても福知山に越しても来る度に但東町は良くなって素晴らしいと思います。町を良くする町民の方たちの心意気が感じられます。我が〇〇町は但東の自然のうえに海という恩恵を受けながら人の心の貧しさを感じ情けなく思うものの一人です。遠来の親戚縁者には大好きな但東町を案内して、温泉や素晴らしい売店、休憩室もできてびっくりしました。ありがと

うございました。

◎ 2月24日 (女性)

福知山から来ました。チューリップ祭りのときには何度かそばまで来るのですが、中に入るのは初めてです。昨年の花博の時にもゲルの中でホーミーと馬頭琴の演奏を聴き感動しました。ホーミーは習ってみたいとも思いました。また生でホーミーが聴けたらいいと思います。今度は家族で来たいです。

◎ 2月26日 (女性)

えんそくで来たけど、洋服とかがすごくかわいくて、ほしいくらいでした(買おうと思った)。また友達と来ます。

◎ 3月4日 大阪市 (女性)

モンゴル衣装がとってもお気に入り、思わずいっぱい着てしまいました。写真を撮りまくり、親もすっかりモンゴル人になりきって……。ゲルに入ったらすごく落ち着いて心が休まる感じです。でも、ずっと住んでいるモンゴルの人達はたいくつしないのかなあ。

◎ 3月8日 奈良県天理市 (女性)

初めて見せていただき、モンゴルの歴史とともにもう一度自分たちの国についても考えさせていただく機会を与えてもらいました。良く考えられた館内に感心しました。

◎ 3月8日 奈良県生駒市 (男性)

私は北九州の出身、対馬を眺める博多の地に日連上人の立像があります。[元寇]の時の神風を祈る姿です。けれども、モンゴル博物館を見学して自分の目が開かれ、今までの視野の狭さを感じました。

◎ 3月10日 (女性)

ずっと前からここに来たかった。来れて嬉しい。本当にモンゴルにいるような気分、今度は絶対本物のモンゴルに行きたい、モンゴルがもっと好きになりました。

◎ 3月16日 大阪市 (女性)

大阪から旅の途中に寄りました。ゲルはテレビで見ると中に入ったら広くてびっくりしました。今からモンゴルの服を着せてもらいます。

◎ 3月18日 兵庫県尼崎市 (女性)

シルク温泉に行く途中寄りました。正直驚きました。これ程の宝物が兵庫の北部の奥地にあるなんて、温泉や海水浴の帰りに是非多くの人々に寄っていただきたいと感じました。ここには、同じアジアに住む人々の東洋文化としての誇り、そして現代の日本人が忘れていた最も大切な手作業・ゆとり・さらに人間本来のリズムと暖かさがあります。ありがとうございました。

- ◎ 3月20日 兵庫県養父郡（女性）
子どもが国語で勉強をし、すごく興味がわき見にきました。とても喜んでいました。
- ◎ 3月22日 兵庫県姫路市（女性）
モンゴルに興味をもち、学校の総合の学習でいろいろ調べた結果、今日自分の目で見て改めて確認ができたようです。とても満足しています。
- ◎ 3月23日 兵庫県姫路市（男性）
モンゴルのことが良く分かります。特に服を着て写真に納め良い思い出になります。家のこと、国のあり方などが良く分かりました。
- ◎ 3月25日（女性）
け〜ちゃんと二人で来ました。け〜ちゃんは、故郷モンゴルに戻って来たよ……を流して喜んでいました。きてよかった……。
- ◎ 3月26日 兵庫県氷上郡（女性）
博物館に来てモンゴルのことが、すごく良く分かりました。モンゴルの留学生が来られるので楽しみです。モンゴルの家を見て住みたいと思いました。
- ◎ 3月27日（男性）
成吉思汗で有名な蒙古大帝国・その面影を見学させていただきました。但馬の地で見られるとはすばらしいことです。資料が良くそろっているのには驚きました。
- ◎ 3月27日（女性）
幼稚園の娘は「スーホの白い馬」を園で読んでもらって知っています。ゲルの中はとても落ち着ける空間です。

8. 施設概要

(1) 本館建築概要

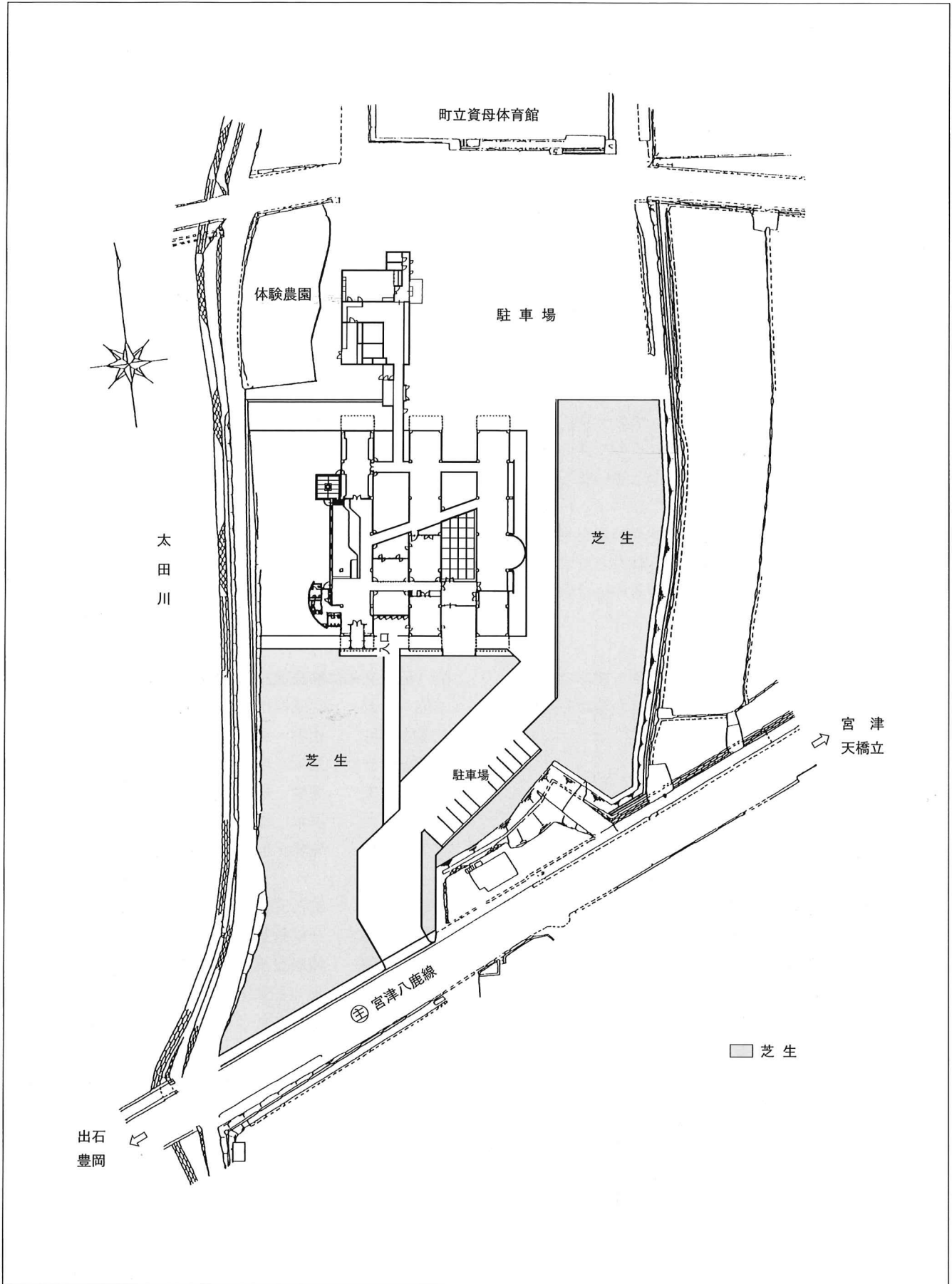
位置	兵庫県出石郡但東町中山 711
基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう
工期	建物 着工 平成7年12月14日 竣工 平成8年8月12日 展示 着工 平成8年5月7日 竣工 平成8年10月30日
敷地面積	10,402.84㎡
建築面積	999.65㎡

構造概要	鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦葺 立体トラス鉄骨（KTトラス）
各室面積	玄関ホール・たんとうの森 211.6㎡、国際理解学習室 56.5㎡、荷解室 33.3㎡、事務室 33.3㎡、館長・応接室 28.0㎡、準備室 48.2㎡ 展示室「東アジアの歴史」 75.7㎡ 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」 206.8㎡ 展示室「チベット仏教」 37.7㎡、企画展示室 74.4㎡ シルクロード（回廊）1 13.3㎡、シルクロード（回廊）2 13.3㎡ シルクロード（回廊）3 12.6㎡、シルクロード（回廊）4 12.6㎡
建物規模	平屋建て 東西41.8m 南北42.5m 地上高9.0m
仕上げ	〈外装〉復層吹付 〈内装〉床：モルタル下地タイルカーペット貼 壁：山本窯業化学テラックス、石膏ボード、化粧合板 天井：杉小幅板、岩綿吸音板貼り

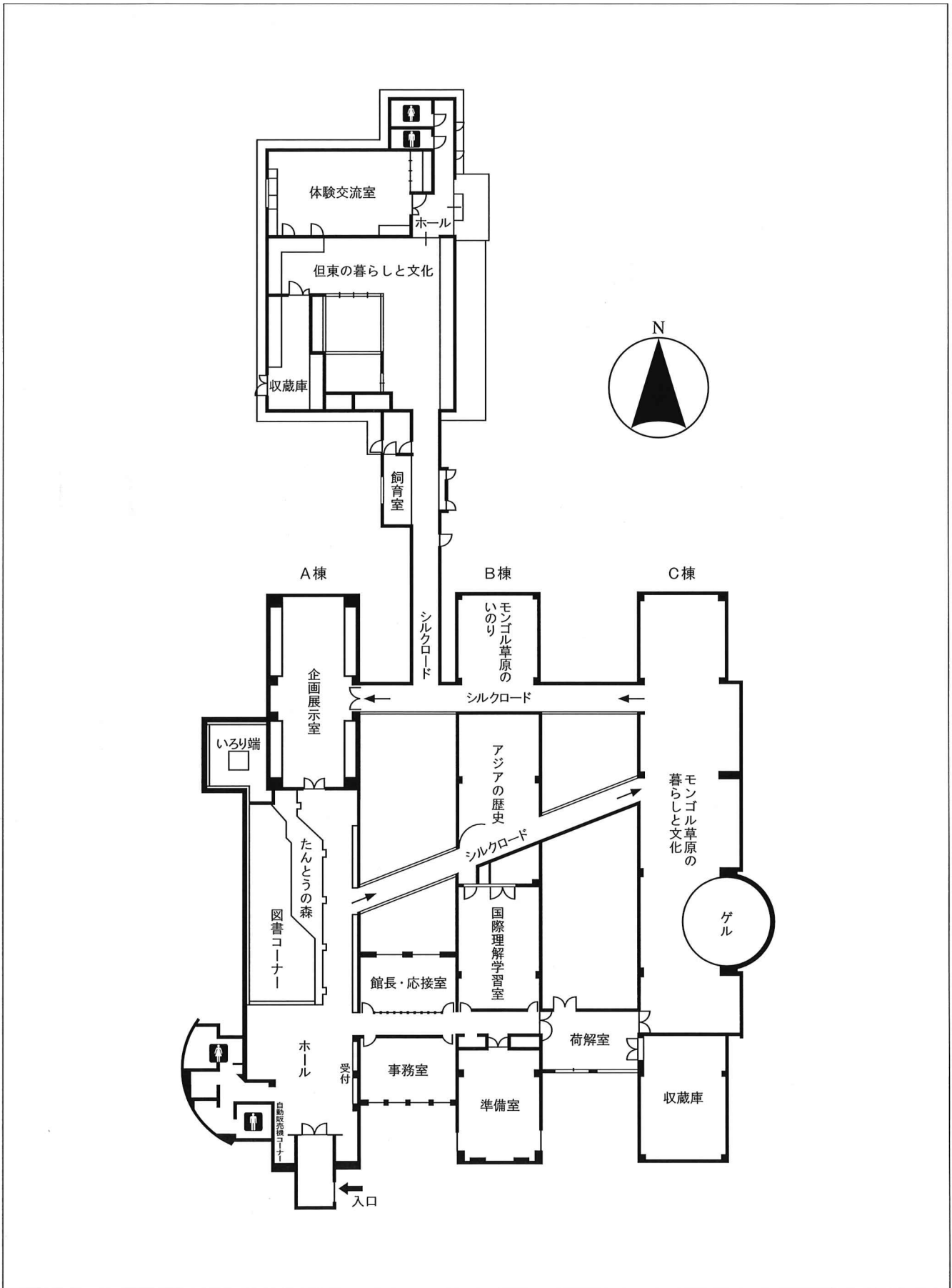
(2) 伝承文化体験交流館建築概要

位置	兵庫県出石郡但東町中山 711
基本設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
実施設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
工事施工	建物 株式会社マルテン 展示 株式会社ナギサ建築工芸
工期	建物・展示 着工 平成11年9月14日 竣工 平成12年3月29日
建築面積	317.57㎡
構造概要	一部鉄筋コンクリート造 木造瓦葺
各室面積	体験交流室 62.6㎡、展示室「但東の暮らしと文化」 112.5㎡ シルクロード（回廊）5 36.4㎡、収蔵庫 27.2㎡
建物規模	平屋建て 東西 12.80m 南北 21.17m 地上高 7.05m
仕上げ	〈外装〉押出成形セメント板 〈内装〉床：モルタル下地タイルカーペット貼 壁：ビニルクロス貼 一部杉板張 天井：化粧PB張一部杉板張

(3) 配置図



(4) 平面図



9. 利用案内 (平成 12 年度)

開館時間 9時30分から17時まで(入館は16時30分まで)
 休館日 水曜日(5月3日は開館)
 年末年始(12月28日～1月4日)
 展示替え及び燻蒸による臨時休館

観覧料 一般 500円(450円)
 高校・大学生 300円(250円)
 小学・中学生 200円(150円)

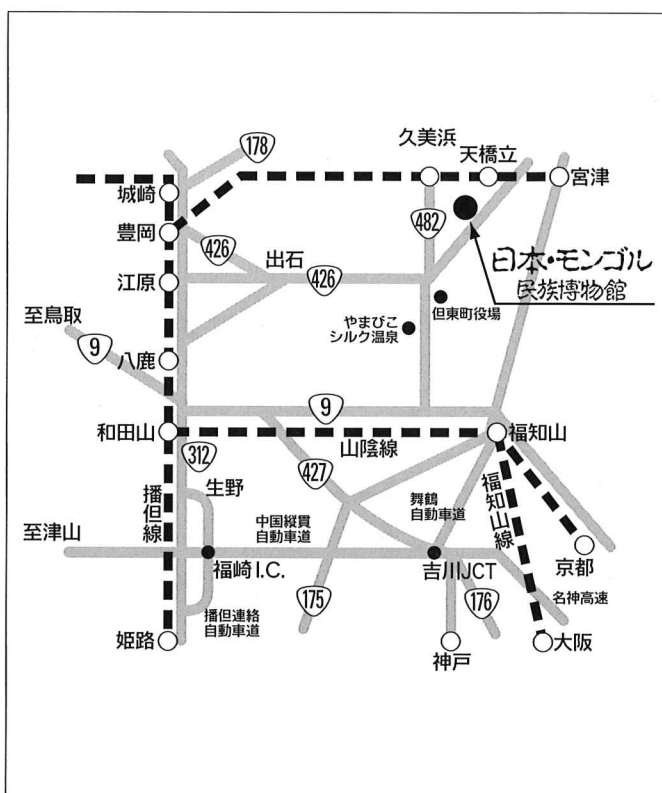
※カッコ内は20名以上の団体の場合

観覧料の減額○但馬ファンクラブ(一律100円の減額)
 ○JAF協定(一律50円の減額)
 ○65歳以上のかたは観覧料の半額
 ○身体障害者(介助者を含む)のかたは観覧料の半額
 ○兵庫県内の小学・中学生はココロンカードの提示により無料
 ○兵庫県内の小学・中学生を引率する教員は無料
 ○但東町民はすべて無料

10. 交通案内



但東町位置図



アクセス・マップ

あ と が き

■ この一年は公私ともいろいろなことがありました。“公”についてはモンゴル人画家D. ウルタナサン氏（ウタさん）の来町。今回は弟子のバルスボルド氏と2人での来町でした。平成11年3月にモンゴルへ出張した際に、ウタさんご一家に盛大なもてなしをしていただいたからというわけではないですが、「できるだけことはしような。」と妻と話していましたが、終わってみれば一度外食に行っただけ……それなのに帰国前、私たちに絵のプレゼントをしてくれました。その絵は私と妻がモンゴルの草原で生活をしている絵でした。

今年度、初めて当館に学芸員実習生が来ました。8日間という短い間でしたが、毎日目を輝かせながら楽しそうに実習を受けていました。十数年前は私もきっと彼と同じ目をしていたと思うのですが……。

“私”については待望の長女が誕生しました。うれしくてかわいくて毎日家に帰るのが楽しみです。

子どものためにももっとしっかりしなければと思う今日この頃です。

平成13年度人事異動によりスタッフが変わりました。開館以来いろいろなことでお世話になった福田館長が勇退され、新しく金津館長が誕生しました。職員も堀さん、浅沼さんが退職され、高木さん、柴田さんが着任されました。みなで地域に根付いた親しみやすい博物館を目指して頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

(大岸勝也)

■ 平成12年4月2日、待望の伝承文化体験交流館の竣工式が盛大に行われました。式典終了後は、新装成った交流館の見学会が行われ、式典参加者からそれぞれに助言をいただき有益な見学会でした。

さて、私は本年度、来館者のお客様ガイドを充実したものにしようという大きな目標を立てました。これには、前年度日本語研修のため遙かモンゴルからサラン・ゲレル女史が来町されていました。彼女への日本語指導を担当しなさいと命ぜられたものではありませんが、自発的に私がやっておりました。ある日のこと、彼女から「堀さんはモンゴルで生活したことがないので、ガイドにも困ると思います。私が知っている限りのことを説明しますので参考にしてください。」という

申し出を受けました。私自身、モンゴル紀行とか風俗文化などを紹介した本を10冊ほど読んだだけの知識でしたので大喜び、およそ3時間にわたり館内の展示品について説明を受けました。このことが、まず年度目標を立てた要因の一つでもあります。

皆さんご承知のように、ガイドというものはしゃべくりまわっても駄目、常に分かってもらえたかなあと、お客様の反応をそれとなく察しながら、間を取って話すのが大切であります。また、ユーモアを交えながら説明することも忘れてはなりません。館内を説明しながらやがて伝承館につきますと、ご年配の方ならほとんどの方が「ここ来るとホットするな……」とか「懐かしいものばかりだな……」とか言いながら、聞き役のお客様がガイド役に変身されたりします。この雰囲気は伝承館には大切なんだと自問自答しながらガイド役に努めて参りました。館内を一巡して、最後にお客様をお送りするとき「案内していただいてよく分かりました。」とか「やっぱり説明を聞かんと値打ちがないなあ」とか口々に言いながら博物館を後にされます。このお客様の声を聞いたとき、私の疲れはいっぺんに吹き飛んで、新たな生気がよみがえったものでした。

(堀 勝彦)

■ この1年は、とにかく大変だった。が、とても短く瞬く間に過ぎてしまったように感じる。私もこちらに勤めてから4年目となり、それなりに仕事の要領もわかってとても楽になったが、その反面、だからこそきちんと進めなければいけないという思いも強くなった。わからない・出来ないでは許されない時（歳）になってきた（現実にはわからない・出来ない・許しての毎日を送っているが悪しからず）。

ところで、今、この1年を振り返ってみると、いろいろなことが思い出される。まず、今年度明けてすぐの伝承文化体験交流館のオープン。昨年度末からの連日深夜に及ぶ残業。2時・3時までの作業はさすがにきつかった。”トライやる“の中学生・博物館実習生の受け入れ。モンゴルの画家二人の滞在。超大作の完成。（私的なことではあるが）職員の怪我や病気など心配な事、結婚やお誕生日という最高のおめでたいことなど。普段から変則的な勤務であるが、これらのことがある度

に、調整にあれこれ頭を痛めたり、心配したり、慌てたり、喜んだり……だからこそ、お互い思いやって普段はもちろん、深夜に及ぶ作業も当たり前でできたように思う。

1月に浅沼さんが辞め、3月に堀先生も辞められた。わずか2年ほどしか一緒にできなかったが、その間教えていただいたものがたくさんある。お二人に感謝。これからもご指導のほど。

(渡辺律子)

■ 博物館にきて2年目。12年度は私にとってとてもたくさんの出来事があった1年でした。

企画展「おみやげの民俗学」の担当、私と同年齢のモンゴル人・パルスとの出会い、初めての出前授業……。その中でも、担当した企画展の準備は本当に大変でした。展示ケース内のレイアウトから、キャプションの原稿、業者との打ち合わせ、すべてが初めての体験で

要領を得ません。展示替えも深夜まで続いてしまい、周りの人にとっても迷惑をかけました。しかし、大変なことばかりではありませんでした。展示のレイアウトに必要なものや参考資料など、博物館の近所の方が快く貸してくださり、そのうえ「がんばりや」と暖かい言葉をかけてくださいました。1年目は博物館の近辺どこに行っても「誰？」という目で見られていた私にとっては、なんだかとても嬉しい出来事でした。このあとかきを書いている今、私は1月で博物館を去り、結婚して岡山で新しい生活を始めています。やっと慣れてきた博物館を去ることはとても残念なことでしたが、これからこの土地で根をおろして生活する私にとって、博物館でのいろんな体験はかけがいのない財産であることは間違いありません。

館長はじめ、副館長・堀先生・大岸さん・渡辺さん、何一つ満足にできない私を辛抱よく温かい目で見守ってくださって本当にありがとうございました。

(浅沼千裕)



(博物館スタッフ)

日本・モンゴル民族博物館年報第4号

Japan Mongolia Folk Museum

〒668-0345 出石郡但東町中山 711

TEL (0796)56-1000

FAX (0796)56-1022

E-mail: monpaku@mxn.kansai.ne.jp

711Nakayama, Tanto-Town, Hyogo 668-0345 JAPAN

発行/日本・モンゴル民族博物館

平成13年5月7日発行

印刷/嶋屋印刷

〒668-0233 出石郡出石町田結庄 86

TEL (0796)52-3408 FAX (0796)52-6000